

平成18年社会生活基本調査の結果（生活行動に関する結果）の概要
（鹿児島県関係）

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和51年以来5年ごとに行われており、平成18年調査はその7回目にあたる。

調査対象は、全国から無作為に抽出された約8万世帯で、その世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員約20万人であり、鹿児島県からは約1,500世帯、約3千人について調査対象となった。

なお、今回は生活行動についての結果公表であり、生活時間についての結果は9月に公表が予定されている。

生活行動に関する結果について

1. 調査の概要

過去1年間（平成17年10月20日～平成18年10月19日）の、自由時間等における主な活動（生活行動）で、6つの生活行動（インターネットの利用、ボランティア活動、旅行・行楽、学習・研究、スポーツ、趣味・娯楽）について調査した。

2. 結果の概略

インターネットの利用

「インターネットの利用」の行動者数は71万9千人で、行動者率は47.2%。前回（平成13年）調査から12.4ポイント増。全国平均を12.2ポイント下回っている。

今回調査では「仕事」や「学業」での利用を含まないが、前回調査では含む。

ボランティア活動

「ボランティア活動」の行動者数は50万6千人で、行動者率は33.2%。前回調査から6.9ポイント減。全国平均を7.0ポイント上回っている。

旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者数は106万8千人で、行動者率は70.0%。前回調査から1.5ポイント減。全国平均を6.2ポイント下回っている。

学習・研究

「学習・研究」の行動者数は48万1千人で、行動者率は31.6%。前回調査から1.9ポイント増。全国平均を3.6ポイント下回っている。

スポーツ

「スポーツ」の行動者数は101万4千人で、行動者率は66.5%。前回調査から5.2ポイント減。全国平均を1.2ポイント上回っている。

趣味・娯楽

「趣味・娯楽」の行動者数は126万人で、行動者率は82.6%。前回調査から3.1ポイント増。全国平均を2.3ポイント下回っている。

行動者数は、過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数

行動者率は、行動者数の10歳以上人口に占める割合（%）

表1 生活行動別行動者率(単位:%)

	平成18年						平成13年					
	鹿児島県			全国			鹿児島県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
インターネットの利用	47.2	48.9	45.6	59.4	62.5	56.5	34.8	39.3	30.8	46.4	51.5	41.5
ボランティア活動	33.2	34.3	32.2	26.2	25.1	27.2	40.1	40.6	39.7	28.9	27.0	30.6
旅行・行楽	70.0	68.9	71.0	76.2	74.7	77.7	71.5	72.8	70.3	80.9	79.8	81.8
学習・研究	31.6	30.7	32.3	35.2	34.4	36.0	29.7	30.4	29.0	36.2	36.2	36.2
スポーツ	66.5	71.5	62.2	65.3	70.4	60.5	71.7	79.9	64.4	72.2	78.2	66.4
趣味・娯楽	82.6	83.3	82.0	84.9	85.2	84.6	79.5	81.3	77.9	85.9	86.3	85.6

注)「インターネットの利用」について、平成18年は「仕事」や「学業」での利用を含まないが、平成13年では含む。

3. 生活行動に関する結果の概要

インターネットの利用について

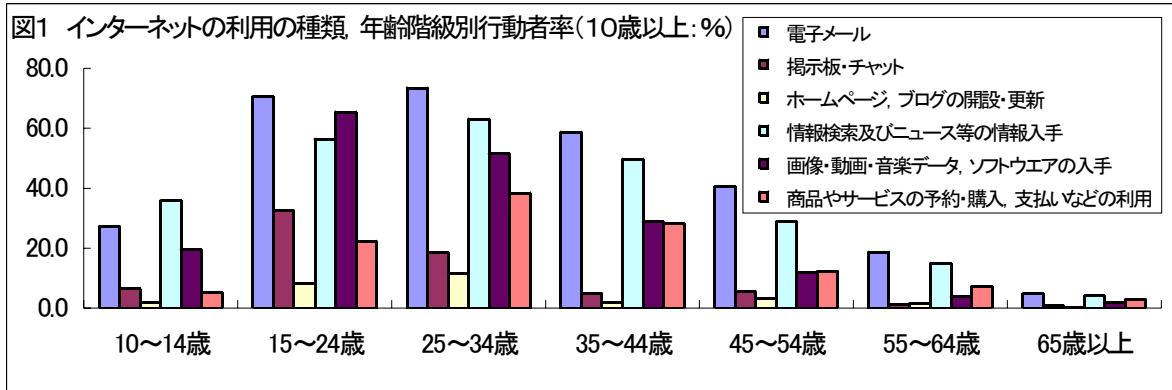
「インターネットの利用」の行動者率（10歳以上、以下の項目も同じ）は47.2%で、全国平均を12.2ポイント下回っている。種類別に行動者率を比較しても、全ての項目で全国平均を下回っている。（表2）

年齢階級別に行動者率をみると、総数では15～24歳が最も高く、利用の種類別では、すべての項目で、15～24歳又は25～34歳の行動者率が最も高い。

種類別では、10～14歳を除くすべての年代において、電子メールの行動者率が最も高くなっている。（図1）

表2 インターネットの利用の種類別、男女別行動者率（10歳以上：%）

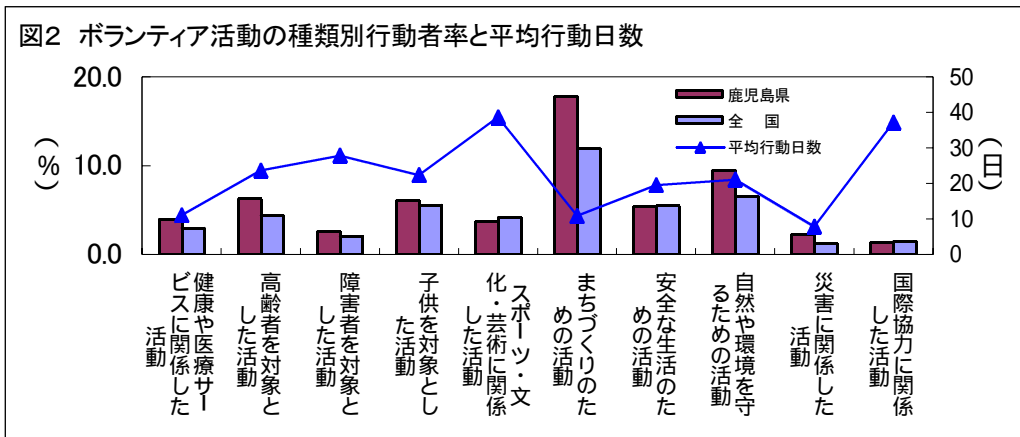
利用の種類	鹿児島県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	47.2	48.9	45.6	59.4	62.5	56.5
電子メール	37.2	37.9	36.7	49.1	50.2	48.1
掲示板・チャット	8.5	10.1	7.1	11.7	12.8	10.7
ホームページ、ブログの開設・更新	3.6	3.7	3.4	6.9	6.8	7.0
情報検索及びニュース等の情報入手	31.0	35.3	27.4	43.0	47.9	38.4
画像・動画・音楽データ、ソフトウェアの入手	22.1	23.6	20.9	26.7	30.2	23.3
商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用	15.2	15.5	14.9	23.5	25.1	21.9
その他	13.5	13.8	13.2	17.3	18.3	16.3



ボランティア活動について

「ボランティア活動」の行動者率は33.2%で、全国平均を7.0ポイント上回っている。

平均行動日数との関連を見ると、「まちづくりのための活動」は行動者率が17.8%と最も高いが、平均行動日数は10.9日と比較的少ないのに対し、行動者率が3.7%の「スポーツ・文化・芸術等に関係した活動」が38.7日と最も多くなっている。（図2）



旅行・行楽について

「旅行・行楽」の行動者率は 70.0 % で、全国平均を 6.2 ポイント下回っている。種類別にみると「国内旅行」の「帰省・訪問等の旅行」、「業務出張・研修・その他」が全国平均を上回っている。前回調査と比較すると、男性が 3.9 ポイント低下、女性が 0.7 ポイント上昇となっており、種類別では総数及び女性の「国内への帰省・訪問等の旅行」、女性の「海外」の「観光旅行」が増加している。(表 3)

表3 旅行・行楽の種類別、男女別行動者率(10歳以上)(%)

		総数	行楽	旅行								
				総数	国内			海外				
					総数	観光旅行	帰省・訪問等の旅行	業務出張・研修・その他	総数	観光旅行	業務出張・研修・その他	
平成18年	鹿児島県	総数	70.0	55.2	55.2	54.5	38.0	25.5	14.7	5.9	5.0	1.2
		男	68.9	53.4	54.7	53.6	36.5	24.2	19.3	5.9	4.3	1.8
		女	71.0	56.8	55.6	55.2	39.3	26.7	10.7	5.9	5.5	0.6
平成13年	鹿児島県	総数	76.2	60.0	63.7	62.2	49.6	25.2	14.6	10.1	8.5	2.4
		男	71.5	57.3	57.5	55.7	40.7	22.9	17.2	6.4	5.1	1.9
		女	72.8	56.4	59.7	58.4	41.2	22.5	25.5	6.8	5.2	2.5
		全国	70.3	58.2	55.5	53.4	40.2	23.2	10.0	6.1	5.0	1.3

注) 行楽は、半日以上の日帰りをいい夜行日帰りも含む。旅行は、1泊2日以上。観光旅行は、レクリエーション・スポーツなどのための旅行を含む。

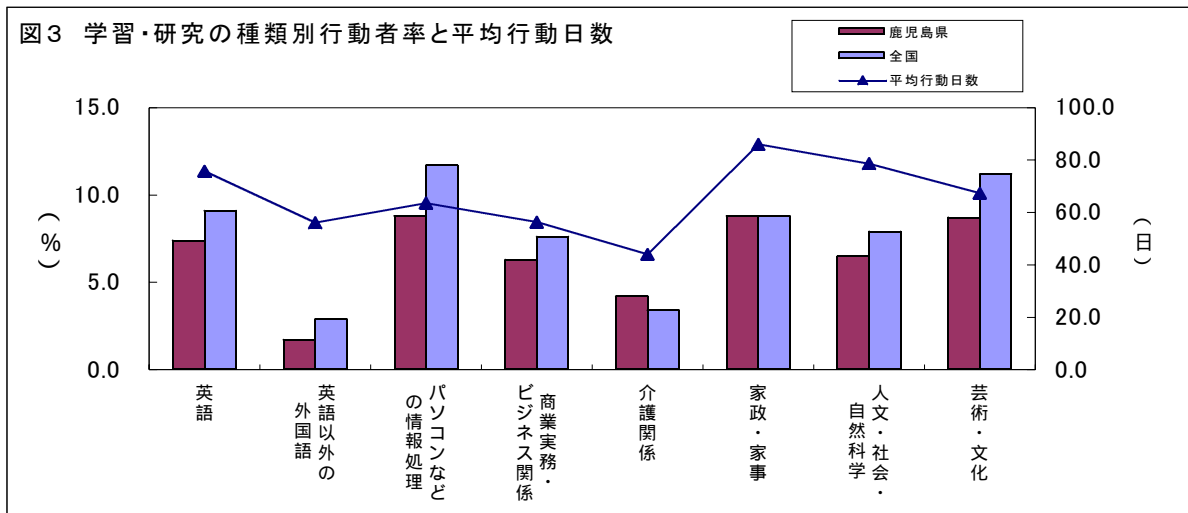
学習・研究について

「学習・研究」の行動者率は 31.6 % で、全国平均を 3.6 ポイント下回っている。項目別では「介護関係」のみが全国平均を上回っている。(図 3)

平均行動日数は「家政・家事」が 86.0 日と最も多く、唯一全国平均を上回っている。

行動者率の平成 13 年との比較では、総数で 1.9 ポイント、男性で 0.3 ポイント、女性で 3.3 ポイント上昇しているが、特に「芸術・文化」では、男性が 0.3 ポイント低下している一方、女性が 3.8 ポイント上昇しており、総数では 1.8 ポイントの上昇となっている。

図3 学習・研究の種類別行動者率と平均行動日数



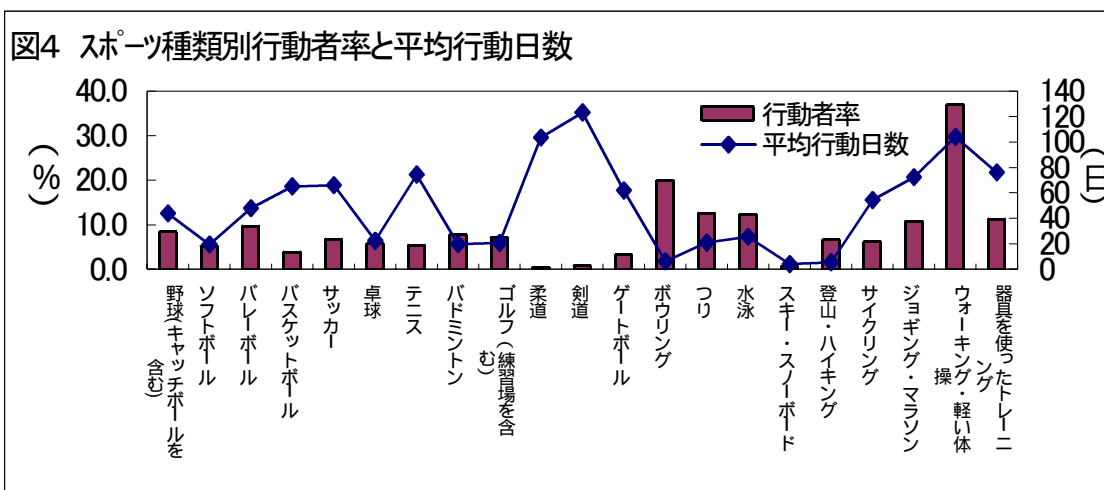
スポーツについて

「スポーツ」の行動者率は 66.5 % で、全国平均を 1.2 ポイント上回っている。

種類別に見ると、「ウォーキング・軽い体操」が 36.9 % で最も高く、ついで「ボウリング」、「つり」となっている。また、「バレーボール」は 4.4 ポイント、「つり」は 2.6 ポイント、「ゲートボール」は 2.2 ポイント全国平均を上回っている。前回調査と比較すると、比較可能なすべての項目で行動者率が低下している。

平均行動日数との関連を見ると、行動者率が最も高い「ウォーキング・軽い体操」は 104.0 日と多い。「剣道」、「柔道」は行動者率はそれぞれ、0.8、0.5 % と高くないが、平均行動日数は 123.2、103.4 日と多い。逆に「ボウリング」は行動者率は 19.9 % と高いが、平均行動日数は 6.1 日となっている。(図 4)

また年齢階級別では「ウォーキング・軽い体操」は全ての年代で 20 %以上の行動者率であり、「釣り」も 10～64 歳と広い年代で 10 %以上となっている。



趣味・娯楽について

「趣味・娯楽」の行動者率は 82.6 %で、全国平均を 2.3 ポイント下回っている。

種類別に見ると「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が 48.5 %と最も高く、ついで「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」、「趣味としての読書」となっている。また、「園芸・庭いじり・ガーデニング」は 5.1 ポイント、「パチンコ」は 3.6 ポイント、「日曜大工」は 1.5 ポイント全国平均を上回っている。前回調査と行動者率を比較すると「スポーツ観覧」は 2.6 ポイント、「趣味としての読書」は 0.5 ポイント、「邦楽」は 0.4 ポイント上昇している。

平均行動日数との関連を見ると、行動者率が最も高い「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」は 137.5 日で最も多い。「邦楽」は行動者率は 1.8 %と高くないものの、平均行動日数は 114.7 日と多い。逆に「映画鑑賞」は行動者率は 25.8 %と比較的高いが、平均行動日数は 8.0 日となっている。(図 5)

